

教科目標

心理カウンセラー科

1. 養成目的

多様化・複雑化する要支援者に対して、心理と社会の両側面のアプローチを通して、問題解決できるカウンセラーを養成します。

2. 教育目標

- ①精神保健福祉士の国家資格に合格する力を身につける
- ②対象者への支援を実践することができる

3. カリキュラム

教育内容	科 目	必修科目 選択必修科目 総単位数 (総時間数)
一般科目	キャリアプランニング 文章表現 チャレンジプログラム指導 チャレンジプログラム 情報リテラシーⅠ ソーシャルワーク特別演習Ⅰ カウンセリングの基礎 情報リテラシーⅡ 地域連携プログラム指導 地域連携プログラム スクールソーシャルワーク論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ ソーシャルワーク特別演習Ⅱ ソーシャルワーク特別演習Ⅲ ソーシャルワーク特別講座 地域福祉応用実習指導 地域福祉応用実習 ※「滋慶選択科目」は選択科目	65 (1860)
専門科目	医学概論 障害者福祉 ソーシャルワークの基盤と専門職 ソーシャルワークの理論と方法 ソーシャルワーク演習 精神保健福祉の原理 精神障害リハビリテーション論 公認心理師の職責 心理学概論 臨床心理学概論 学習・言語心理学 発達心理学 心理学的支援法 社会福祉の原理と政策 地域福祉と包括的支援体制 ソーシャルワークの理論と方法(精神専門) 精神医学と精神医療 精神保健福祉制度論 ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅰ 心理学研究法 心理学統計法 感情・人格心理学 心理的アセスメント 福祉心理学 教育・学校心理学 司法・犯罪心理学 心理学と心理的支援 社会学と社会システム 社会福祉調査の基礎 権利擁護を支える法制度 社会保障 現代の精神保健の課題と支援 心理学実験 知覚・認知心理学 神経・生理心理学 社会・集団・家族心理学 障害者(児)心理学 産業・組織心理学 関係行政論心理演習 心理実習 刑事司法と福祉 ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅱ ソーシャルワーク実習指導(精神) ソーシャルワーク実習(精神) 健康・医療心理学 心理実習前後指導	117 (2120)
合 計		182 (3980)

※一般科目の「地域福祉応用実習指導」＋「地域福祉応用実習」
専門科目の「精神保健福祉援助実習指導」＋「精神保健福祉援助実習」は組み合わせで選択必修とする

※卒業に必要な単位数(時間数)：175単位(3680時間)

4. 学年・学期目標

1年	学年目標	心理・福祉の専門職として求められる基盤を理解し、メンタルヘルスのスペシャリストが活躍するフィールドの全体像を把握する。クラスメイトと協調・協同し、自己を成長させるきっかけとする。
	前期目標	心理的・福祉的支援の基礎や倫理を学び、専門職として人と接する上で、他者から信頼される術を身に着けるとともに、自律する力を身に着ける。
	後期目標	通常授業とチャレンジプログラムの実践を通して、現場でのプロの姿を見聞きし、心理・福祉の活躍するフィールドの全体像を把握する。また、グループ学習を行うことで、自己の課題を発見し、成長へと繋げる。
2年	学年目標	自分の特性と、地域社会や現場が求めている知識・スキルを理解し、自分の活躍したい分野を見据える。
	前期目標	通常授業や演習、地域連携プログラムを通して、主観的ではなく客観的に物事をとらえる力を身に着け、自己覚知につなげる。
	後期目標	通常授業や地域連携プログラムの実践を通して、地域の実情や課題を知り、支援するうえで必要な力を把握し、自分との比較において高める必要のある力を見据える。
3年	学年目標	活躍したいフィールドにおける自分の持ち味（武器）を見つけ、就職時における即戦力となる力を身につける。
	前期目標	卒業研究や卒業実践研究を通して、自分の持ち味（武器）をどのように高めるのか計画を立てる。
	後期目標	卒業研究や卒業実践研究を通して、自分の持ち味（武器）を高め、就職活動時に伝えられるようにする。
4年	学年目標	自分の希望する職場での内定を取る。もしくは、心理系大学院の入学を決める。また精神保健福祉士の資格試験を合格する。
	前期目標	就職活動において、内定を勝ち取る。または、心理系大学院に進学するものは入試に合格する。
	後期目標	精神保健福祉士の国家試験対策を通して、確実に合格する。

5. 取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
精神保健福祉士	選	厚生労働省	指定科目を履修し、試験合格後登録
公認心理師	選	厚生労働省	指定科目を履修し卒業後、指定の実務経験ないしは大学院修了を経て受験し、合格後登録
認定心理士	選	公益社団法人 日本心理学会	指定科目を履修後、個人が申請する

6. 主な就職分野 ※公認心理師資格取得後も含む

就職分野	職 種
就労移行支援施設、就労移行支援施設	生活支援員、生活指導員
地域活動支援センター	生活支援員、生活指導員
自立支援施設（就労移行、就労継続、生活訓練、共同生活援助等）	職業指導員、生活支援員、生活指導員
介護保険施設	生活相談員、支援相談員、相談指導員
児童福祉施設	指導員
更生施設	生活指導員
障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービス事業を行う施設	生活指導員、生活相談員
精神保健福祉センター	精神保健福祉相談員
総合病院、精神科病院	医療ソーシャルワーカー、精神科ソーシャルワーカー 心理判定員、生活指導員
精神科診療所	医療ソーシャルワーカー、心理判定員、生活指導員
公務員（保健所）	精神保健福祉相談員
家庭裁判所	調査官
少年鑑別所、少年院、刑務所	法務技官、法務教官
保護観察所	保護観察官
警視庁、道府県警察本部	心理職員
公共職業安定所（ハローワーク）	職業指導員
一般企業	人事部、ジョブコーチ
EAP 従業員支援プログラム	相談員
私立学校・公立学校・大学	スクールカウンセラー

2024年度 教科課程

心理カウンセラー科

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	キャリアプランニング	Career Planning	一般科目	必修	講義	4	60	30	30	自らの目指す職業像に近づけるための知識、スキルを高めると共に、課題と対策を自ら考え成長へと繋げる姿勢を身につける。
	文章表現	Basic Writing Skills	一般科目	必修	講義	2	30	30	分かりやすく明確な文章を書くための文章表現力を身につける。	
	チャレンジプログラム指導	Seminar for Challenge Program	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	チャレンジプログラムに向けて実習施設に関する理解を深め、必要な知識・技術・法令等遵守について確認する。
	チャレンジプログラム	Challenge Program	一般科目	必修	演習	5	150		150	さまざまな方を支援するための基盤となるコミュニケーション力を身につける。
	情報リテラシー I	IT Literacy I	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識や姿勢を身につける。
	ソーシャルワーク特別演習 I	Social Work Developmental Exercise I	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	対人援助職としての心と身体作り、また協調協同の姿勢を学ぶ。
	カウンセリングの基礎	Basic for Counseling	一般科目	必修	演習	1	30		30	心の支援者としての身構え心構え心構えを学び、相談を受ける最低限の知識・技術を身につける。
	滋慶選択科目	Elective SubjectS	一般科目	選択	講義	1	15	15		多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を越えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
専門科目	医学概論	Introduction to Medicine	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について、人の身体構造と心身機能、健康・疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ちや回復過程、公衆衛生の観点から理解する。
	障害者福祉	Support for the Challenged Person	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程を踏まえ、障害者に対する法制度と支援の仕組み、障害の概念と特性、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。また、障害による生活課題を踏まえた社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	ソーシャルワークの基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。
	ソーシャルワークの理論と方法	Social Work Theory and Methods	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	人と環境との交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークと、ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解するとともに、ソーシャルワークの過程、記録、ケアマネジメント、集団を活用した支援、コミュニティワーク、スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。
	ソーシャルワーク演習	practice for Social Work	精神指定科目	必修	演習	1	30		30	ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力、ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専 門 科 目	精神保健福祉の原理	Principles of Mental Health Welfare	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。また、精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。
	精神障害リハビリテーション論	Theory of Mental Disorder Rehabilitation	精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。そして、精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。
	公認心理師の職責	Professionalism of Licensed Psychologists	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		公認心理師の法的義務・倫理を学び、多職種連携や地域連携の重要性を理解する。
	心理学概論	Introduction to Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学の成り立ちや人の心の基本的な仕組み及び働きを理解する。
	臨床心理学概論	Introduction to Clinical Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	臨床心理学の成り立ちや臨床心理学の代表的な理論を理解する。
	学習・言語心理学	Psychology of Learning and Language	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		人の行動が変化する過程や言語の習得における機序を理解する。
	発達心理学	Developmental Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		認知機能の発達及び感情・社会性の発達や自己と他者の関係の在り方と心理的発達について理解する。
心理学的支援法	Methods of Psychological Support	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界を学ぶ。	
			必修科目 総単位数 (49)						必修科目 総時間数 (930)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2025年度 教科課程

心理カウンセラー科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	地域連携 プログラム指導	Preparatory Class for Field Education Programs	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	地域連携プログラムや学校行事等 に関連した準備や振り返りを行う とともに、そのプロセスにおいて 既習内容と関連させる。
	地域連携 プログラム	Field Education Programs in Cooperation with Community Resources	一般 科目	必修	演習	8	240	120	120	地域の施設で年間を通して実習を 行うとともに、様々な団体等と連 携し地域・社会の課題を解決する 方法を身につける。
	情報リテラシー II	IT literacy II	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって 必要な情報を正しく扱う知識・技 術を身につける。
	スクールソー シャルワーク論	Theory of School Social Work	一般 科目	必修	講義	2	30	30		今日の学校教育現場にスクール ソーシャルワーカーを導入する意 義とその必要性を理解する。
	滋慶選択科目	Elective Subjects	一般 科目	選択	講義	1	15	15		多分野の知識・技術を習得すると ともに、専門性を超えた交流の輪 を広げ、人間性を豊かにすること につなげる。
精神 指定 科目	社会福祉の原理 と政策	Social Welfare Principles and Policies	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学 びをふまえて、現代における社会問題とその構 造的な背景を理解する。あわせて福祉政策の基 本的な視点をふまえて、福祉政策のニーズや資 源、構成要素と過程を理解するとともに、福祉 政策の動向と課題と国際比較、関連施策、サー ビスの供給と利用過程を理解する。
	地域福祉と包括 的支援体制	Community Welfare and Comprehensive Support System	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向、住 民の主体形成の概念を理解するとともに、地 域福祉を推進するための福祉行政の実施体制と 果たす役割、地域福祉計画をはじめとした福 祉計画の意義・目的及び展開を理解する。あ わせて包括的支援体制の考え方、多職種及び 多機関協働の意義と実際について理解する とともに、地域生活課題の変化と現状を踏 まえ、包括的支援体制における社会福祉士 及び精神保健福祉士の役割を理解する。
	精神医学と精神 医療	Psychiatry and Mental Care	精神 心理 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	精神疾患の分類を把握するとともに、主 な疾患の症状、経過、治療方法などにつ いて理解するとともに、精神科病院等にお いてチーム医療の一員としての精神保健福 祉士の役割を理解する。
	ソーシャルワー クの理論と方法 (精神専門)	Social Work Theory and Methods (MHSW Specialized)	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ 人に対するソーシャルワークの過程を学ぶ。 また、精神医療、精神障害者福祉におけ る多職種連携・多機関連携の方法と精神 保健福祉士の役割について理解する。そ して、精神保健福祉士と所属機関の関 係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・ 組織活動の展開に関する概念と方法につ いて理解する。
	精神保健福祉制 度論	Mental health Welfare System Theory	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		精神障害者に関する法制度の体系につ いて学ぶ。精神保健福祉法、医療観察法 等の医療に関する制度の概要と課題、制 度に規定されている精神保健福祉士の役 割について理解する。そして、生活支 援に関する制度の概要と課題、制度に 規定されている精神保健福祉士の役割に ついて理解する。
	ソーシャルワー ク演習（精神専 門）I	Practice for Social Work (MHSW Specialized) I	精神 指定 科目	必修	演習	2	60	30	30	精神疾患や精神障害、精神保健の課題 のある人のための諸制度、サービスにつ いて、その概念と利用要件や手続きを知 り、援助に活用できるようになる。また、 精神疾患や精神障害、精神保健の課題 のある人との関係機関や職種の役割を 理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
	心理学研究法	Psychological Research Methods	心理 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）、データを用いた実証的な思考方法、研究における倫理を理解する。
	心理学統計法	Psychological Statistics	心理 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学で用いられる統計手法と統計に関する基礎的な知識を理解する。
	感情・ 人格心理学	Psychology of Emotion and Personality	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	感情に関する理論及び感情喚起の仕組みと、感情が行動に及ぼす影響等を理解する。
	心理的アセスメント	Psychological Assessment	心理 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	心理的アセスメントの目的及び倫理や方法（観察、面接及び心理検査）を学び、適切な記録及び報告について理解する。
	福祉心理学	Psychology for Social Welfare	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、虐待について理解する。
	教育・ 学校心理学	Educational and School Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	教育現場において生じる問題及びその背景、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を理解する。
	司法・犯罪心理学	Forensic and Criminal Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識やそれらの問題に対して必要な心理に関する支援について理解する。
			必修科目 総単位数 (54)						必修科目 総時間数 (1020)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2026年度 教科課程

心理カウンセラー科

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	卒業研究 I	Graduation Research I	一般科目	必修	演習	8	240	120	120	自ら選んだテーマに沿って研究・開発・制作を行い、そのテーマに対する客観的な事実から問題を探求し、自らの考え方や見解をまとめる。
専門科目	社会保障	Social Security	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	現代社会における社会保障制度の課題等（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。
	社会学と社会システム	Sociology and Social Systems	精神指定科目	必修	講義	2	30		30	生活の多様性や人と社会の関係、社会問題とその背景について理解し、現代社会の特性を理解する。
	社会福祉調査の基礎	Basics of Social Welfare Survey	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		社会調査の意義と目的、調査における倫理と個人情報保護について理解した上で、質的研究、量的研究を含めた調査のデザインやソーシャルワークにおける評価について理解する。
	権利擁護を支える法制度	Law System for Advocacy	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		法の基礎とソーシャルワークと法の関わりを理解し、権利擁護の意義と支える仕組み、権利擁護に関わる組織、団体、専門職、活動において直面しうる法的諸問題、成年後見制度の概要を理解する。
	現代の精神保健の課題と支援	Contemporary Mental Health Issues and Support	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	現代の精神保健分野の動向と課題を理解し、精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。
	心理学と心理的支援	psychology and Psychological support	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		人の心の基本的な仕組みと機能や人の成長・発達段階に特有の心理的課題を理解するとともに、日常生活と心の健康との関係、環境との相互作用の中で生じる心理的反応、心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援を理解する。
	知覚・認知心理学	Perception and Cognitive Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害を理解する。
	神経・生理心理学	Nerves and Physiological Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	脳神経の構造及び機能や記憶、感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害の概要を理解する。
	健康・医療心理学	Health and Medical Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		ストレスと心身の疾病との関係や心理社会的課題及び災害時等の支援を理解する。
	心理学実験	Psychological Experiments	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		心理学の実験の計画立案や統計に関する基礎的な知識について理解すると共に客観的に物事を見る視点を身につける。
社会・集団・家族心理学	Social, Group and Family Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程が社会や集団、個人に及ぼす影響について理解する。	

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	障害者（児）心理学	Psychology for Adults & Children with Disabilities	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		身体障害、知的障害及び精神障害の概要や障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について理解する。
	心理演習	Seminar in Psychology	心理指定科目	必修	演習	2	60	30	30	心理療法についての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし役割演技（ロールプレイング）を行、支援者としての技術を取得する。
	心理実習	Practical Training in Psychology Preparatory	心理指定科目	必修	実習	1	80	80		当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受けながら、チームアプローチ、多職種連携及び地域連携等を理解する。
	心理実習前後指導	Class for Practical Training in Psychology	—	必修	演習	1	30	30		心理実習前教育、心理実習後教育を通して目的の立案・評価を行い実習を適切に実施していく。
			必修科目 総単位数 (40)						必修科目 総時間数 (830)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2027年度 教科課程

心理カウンセラー科

4年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	ソーシャルワーク特別演習Ⅱ	Social Work Developmental Exercise II	一般科目	必修	演習	7	225		225	自身のキャリアプランにおいてソーシャルワーク技術を実践するとともに、国家試験対策を対策を通して、知識を体系的に確認する。
	ソーシャルワーク特別演習Ⅲ	Social Work Developmental Exercise III	一般科目	必修	演習	5	150		150	国家試験の直前対策を受け、合格する力を身につける。
	ソーシャルワーク特別講座	Social Work Developmental Course	一般科目	必修	講義	5	75	30	45	就職に関する情報収集や履歴書・面接における対策を講じ、希望する分野への就職を可能とする力を育む。
	卒業研究Ⅱ	Graduation Research II	一般科目	必修	演習	1	30	30		自ら選んだテーマに沿って研究・開発・制作を行い、そのテーマに対する客観的な事実から問題を探求し、自らの考え方や見解をまとめる。
	地域福祉応用実習指導	Seminar for Field Education in Community Welfare	一般科目	選択 必修	演習	3	90	90		地域応用実習に取り組む目標設定と事後学習を通して、知識・技術の定着ができるようにする。 ※本科目選択者は、「地域福祉応用実習」も併せて履修する。
	地域福祉応用実習	Field Education in Community Welfare	一般科目	選択 必修	実習	4	210	210		福祉施設における実習を通して、ソーシャルワーク技術の実践力を高める。 ※本科目選択者は、「地域福祉応用実習指導」も併せて履修する。
専門科目	刑事司法と福祉	Criminal Justice and Welfare	精神指定科目	必修	講義	2	30		30	刑事司法の近年の動向と制度の仕組み、刑事司法に関する社会福祉士及び精神保健福祉士の役割や関係機関の役割について理解する。
	ソーシャルワーク演習（精神専門）Ⅱ	Practice for Social Work (MHSW Specialized) II	精神指定科目	必修	演習	1	30	30		精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。そして、精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。
	ソーシャルワーク実習指導（精神）	Seminar for Field Education in Social Work (MHSW)	精神指定科目	選択 必修	演習	3	90	45	45	ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習の意義について理解する。ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得する。
	ソーシャルワーク実習（精神）	Field Education in Social Work (MHSW)	精神指定科目	選択 必修	実習	4	210	90	120	精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題をもつ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題についてソーシャルワーク実習を行う実習先において調査し具体的に把握する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専 門 科 目	産業・組織心理 学	Industrial and Organizational Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		職場における問題(キャリア形成に関 することを含む)に対して必要な心理 に関する支援について理解する。
	関係行政論	Legal and Administrative Systems	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、 産業・労働分野における制度や課題 を理解する。
			必修科目・必修選択科目 総単位数 (32)						必修科目・必修選択科目 総時間数 (900)	

※一般科目の「地域福祉応用実習指導」＋「地域福祉応用実習」

専門科目の「精神保健福祉援助実習指導」＋「精神保健福祉援助実習」は組み合わせで選択必修とする

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	930時間/49単位
2年次	1020時間/54単位
3年次	830時間/40単位
4年次	900時間/32単位